

令和元年 第5回 仙北市議会 定例会 予算常任委員会

【通告要旨】 議案第80号 令和元年度仙北市一般会計補正予算(第2号)

通告者 16番 高久昭二 委員

- 1 歳入 15 款 県支出金 民生費県負担金 特定教育・保育施設給付費負担金 758 万 7 千円について
- 2 歳出 3 款 2 項 児童福祉費 ひとり親家庭福祉事業費 104 万 9 千円の支出内容について(具体的支援策含め)
- 3 歳出 3 款 2 項 児童福祉費 教育・保育施設給付費 2,730 万 6 千円の使い道について
- 4 歳出 7 款 1 項 商工費 企業誘致対策事業費 12 万円について、及び田沢湖黒沢工業団地の企業誘致の見通しはあるか。(具体的に)
- 5 歳出 7 款 1 項 商工費 3D 連携を基軸とした交流拡大事業費△206 万 5 千円の内容について
- 6 歳出 8 款 5 項 住宅費 市営住宅管理運営費 30 万 8 千円及び、岩瀬市営住宅の長寿命化計画について、更に今後の補強工事の見通しは。

通告者 7番 平岡裕子 委員

- 1 歳出 7 款 1 項 3 目 観光費
 - (1) 観光復興交付金対象事業のみちのく三大桜名所プロモーション強化事業費 230 万円の減額、インバウンド横軸連携受入整備事業費 62 万円の減額、3D 連携を基軸とした交流拡大事業費 206 万 5 千円の減額理由と 3 事業の進捗状況を伺う。
 - (2) 観光施設維持管理費 31 万 4 千円は、どこの施設を指し、駅前広場施設管理運営費 128 万 8 千円と工事請負費 106 万 3 千円の関連性について伺う。
 - (3) 生保内公園つつじ祭り開催費補助金 10 万円の減額理由を伺う。
- 2 歳出 10 款 1 項 5 目 北浦教育文化研究所費 いのちの教育あったかエリア事業費 120 万円について、事業内容と今後どのように展開していくのか伺う。
- 3 歳出 10 款 6 項 1 目 保健体育総務費 2020 仙北市スポーツ文化交流事業費 216 万 8 千円について、事業内容と委託費 192 万 9 千円の内容について伺う。

通告者 3番 高橋輝彦 委員

- 1 歳出 3 款 2 項 3 目 児童福祉施設費 3,015 万 9 千円について
 - (1) 10 月 1 日から実施される幼児教育・保育の保育料無償化と副食費の全額助成に係る補正予算と思われるが、それぞれの国、県、市の負担額を伺う。
 - (2) 国が定めた保育料無償化の財源については、今年度は全額国庫負担ということだったが、来年度以降の財源について伺う。

2 令和元年度仙北市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8億24万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ220億616万円とすることについて

- (1) 本定例会の補正予算の歳入において、地方交付税と寄付金の増額補正は財政運営にプラス要素であるが、繰入金と市債の増額補正は、将来世代への負担増となるばかりか、財政破綻が危惧されるほど仙北市の財政に余裕はない。

来年度の予算編成では、市民生活に欠かせないものはしっかり確保する一方、徹底的に事業を厳選し、特に一般財源での効果の低い事業は止めることで徹底的なスリム化を図るべきと考えるが、今後の財政運営の考え方を伺う。

- (2) 経常的支出ともいえる市の年間費用が当初予算に盛り込まず、補正予算に措置しなければならないのか。

民間企業しか経験のない私は、理解に苦しんでいるので、教えていただきたい。

通告者 5番 高橋 豪 委員

- 1 歳出8款2項3目 社会資本整備総合交付金事業費 △205,434千円について

(1) 予算減額による予定事業への影響について伺う。

(2) 交付金の今後の見通しについて伺う。

- 2 歳出8款2項3目 辺地対策事業費 349,850千円について

(1) 事業内容と予算の内訳について伺う。

(2) 市内橋梁改修等の状況について伺う。

- 3 歳出8款4項4目 生保内公園施設維持管理費 3,641千円について

事業内容と予算の内訳について伺う。

【通告要旨】 議案第83号 平成30年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について**通告者 16番 高久 昭二 委員**

- 1 歳入20款1項 市債 道路橋りょう整備事業債7,850万円の使い道について、具体的な説明を求める。

- 2 仙北市病院事業等医師等就学資金貸付金960万円は、何名分で、今後の見通しは。

通告者 6番 熊谷 一夫 委員

歳入(決算書P14)

- 1 市税の不納欠損額5,500万9千円のうち、84.5%の4,649万1千円が、固定資産税によるものである。徴収率が86.3%と前年比10%増となったが、滞納繰り越し分徴収率は16.2%である。

1億8,253万5千円の収入未済額と不納欠損の理由、今後の収納対策について伺う。

- 2 入湯税の収入未済額 897 万 3,100 円は、5 年分の滞納額で、お客様より預ったものである。平成 29～30 年度の滞納はゼロだが、滞納分をどう徴収するのか？
滞納理由と徴収状況を伺う。
- 3 決算書 P59 給食収入の収入未済額 2,468 万 9,275 円について
総合給食センターが新築されている時に、できれば滞納分を精算して新出発したいものである。現在の収納状況と今後の施策について伺う。
- 4 決算説明資料 P12 第 6 表 市債の状況は、30 年度末発行高が昨年度末に比べ 2 億 8,259 万円増加して 206 億 977 万円の差引現在高となった。
今後、更に増えていくことが予想されるが、財政健全化と市債発行額の数値目標をどこに置いているのか伺う。

通告者 7番 平岡 裕子 委員

- 1 歳出 2 款 1 項 総務管理費
 - (1) ふるさと納税ふるさと便事業費 7,983 万 6,894 円のうち、事務補助賃金 (1 名) 161 万 9,276 円の内訳と事務担当は何人体制か伺う。
 - (2) 地域公共交通対策費 49 万 6,768 円のうち、免許返納制度補助金 11 万 4,400 円の内訳について伺う。
平成 26 年度に比べると、平成 30 年の返納者は 42 人と 4 倍になっているが、市内において高齢者の免許所持者数はどれくらいか。
- 2 歳出 6 款 1 項 農業費
仙北市堆肥センター管理運営費 968 万 3,172 円のうち、販売料 43 万 3,180 円の内訳と購入者層を伺う。
- 3 歳出 10 款 5 項 社会教育費
花いっぱい運動推進事業費 480 万 9,157 円のうち、委託料 371 万 7,917 円の内訳を伺う。

通告者 5番 高橋 豪 委員

- 1 歳出 3 款 2 項 児童福祉費 在宅子育てサポート事業費について
10 月からの幼保無償化に伴い、保育所等の利用者はより経済負担の軽減が図られることになるが、在宅子育ての支援も同様に充実させるべきではないのか。平成 30 年度決算では、サポート券の交付件数は 91 件 (91 万円) となっているが、今後の市の考え方や方針について伺う。
- 2 保育園入所待機児童等支援事業費補助金
 - (1) 平成 30 年度決算では待機児童 14 名のうち、補助金交付対象者数が 3 名となっているが、なぜ利用者が少ないのか。
また、市ではこの制度についてどのような周知をしているのか。
 - (2) 昨年度の待機児童 14 名について、その内訳を問う。

また、現在の状況についても伺う。

(3) 待機児童の受け皿となっている子育てボランティア等の状況を伺う。

また、受け手に対し、平成30年度はどのような支援を行ったのかについても問う。

(4) 平成30年度においては、保育所等では第2子以降の利用料を無料とするなど、利用者の負担軽減策が図られているが、そもそもこれまで、この制度においては、どのようになっていたのか。

(5) 本年10月から実施される幼保無償化により、保育所等の利用者は、経済的負担が軽減されることになるが、この制度の利用者についても同様としなければ、不公平感が出るのではないのか。

幼保無償化に関連し、制度の変更は行われるのかについて伺う。

3 歳出7款1項 商工費 インバウンドサイクリングコース活用事業費（観光復興交付金）について、大仙市、及び美郷町と連携したサイクリングコースの設定事業として、決算額は1,105万5千円となっているが、具体的なサイクリングコースについてと、外国人利用者の実績等について伺う